

利用者から見た 学認の現状と期待

SP周辺環境を中心に

注

諸般の事情により
クマの-avatarが
発表時とは
異なっております



東海国立大学機構

情報環境部情報システム運用課

田中 昌二

tanaka.akiji.c2@mail.f.thers.ac.jp



はじめに



免責状況、あるいは予防線

- 本発表の内容は**発表者個人の主観**によるものです
- 発表者は学認運営やSP提供に伴う諸々の**事情には通じておりません**
- **素人の部外者**から見える景色です



クレーマー対応の気分で
お聞きください

🐾 誰だお前？

・田中 昌二（たなか あきじ）

東海国立大学機構

岐阜大学

主任技師

機構セキュリティ室

岐阜大学CISO補佐

Ph.D.

岐大IdP運用担当

Crystal

PowerShell

情報処理安全確保支援士

機構MS365 Global Admin

Ruby

岐大CISRT



学内のIT何でも屋さん



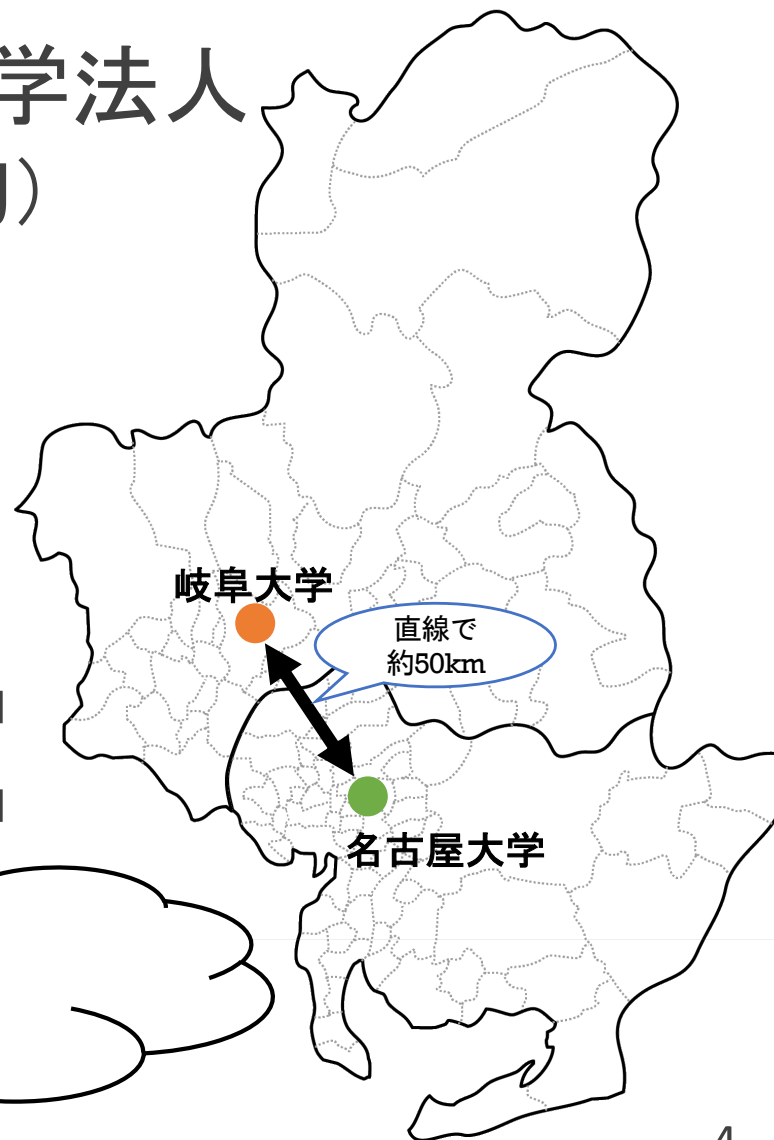
MAKE NEW STANDARDS.

東海国立大学機構

- ・アンブレラ方式国立大学法人
 - ・2020年4月発足（国内初）
 - ・1法人2大学
 - ・名古屋大学＋岐阜大学

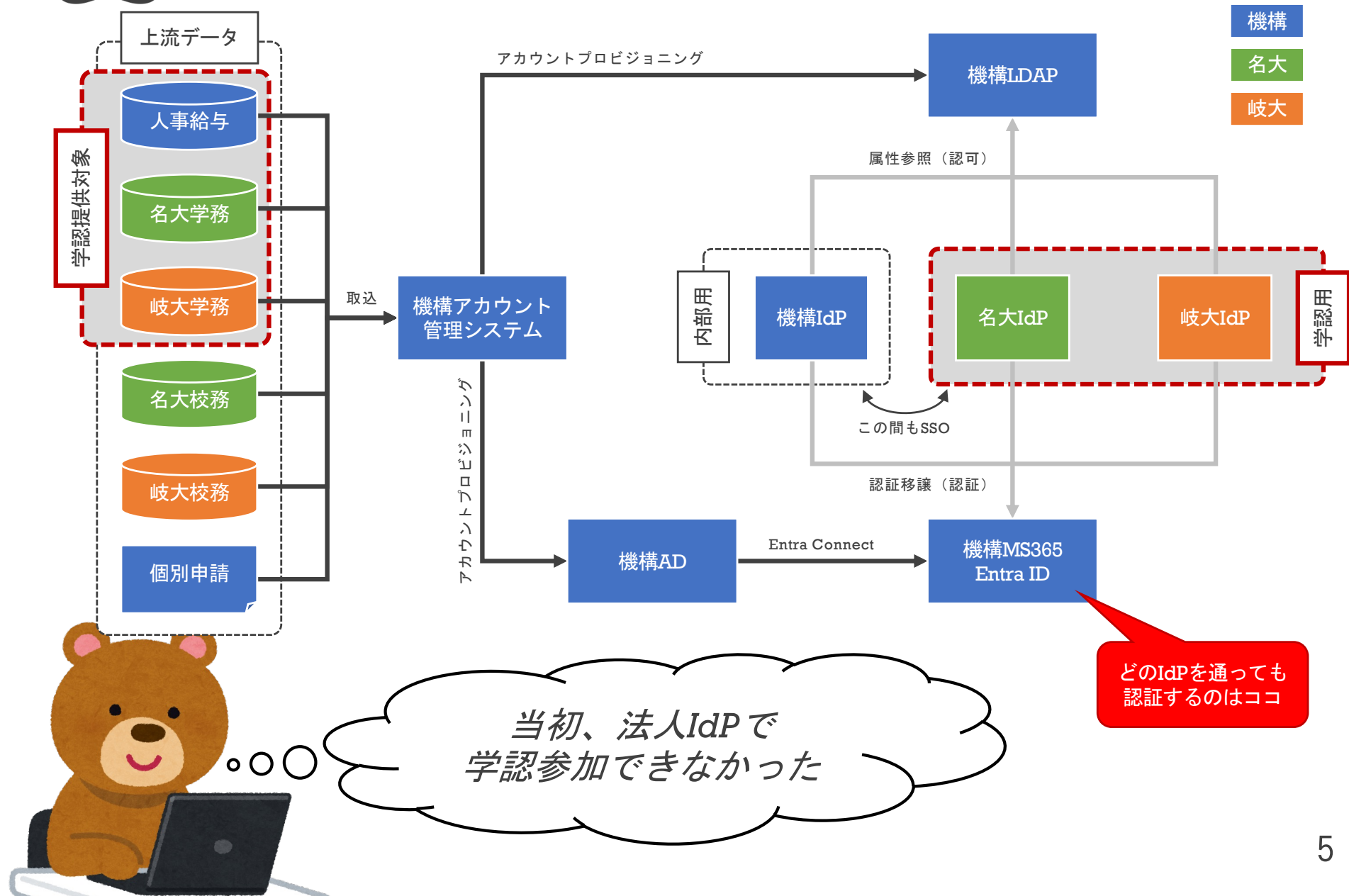
- ・構成員数

- ・学生/生徒 約25,000名
- ・教職員他 約15,000名



県跨ぎだけど
そこまで遠くない

東海国機構のSAML IdP構成





ある利用者から見た 学認SPの印象



電子ジャーナル利用は多そう

- 図書館主導
 - 契約が先にある
 - 提供機関もサービス名も自明
- とはいえ学認は手段
 - × 学認が使えるからジャーナル契約しよう
 - ジャーナルが対応してるから学認使おう



NIIのサービスは学認対応よね

- 学認LMSとか
- eduroam JP 連携認証IDサービスとか
- NII FileSenderとか



🐾 それ以外に何かある？

- どんなSPがあるのかよく分からない
- どこで探せば良いかもよく分からない
- 一般利用者どころか、IdP担当者ですら



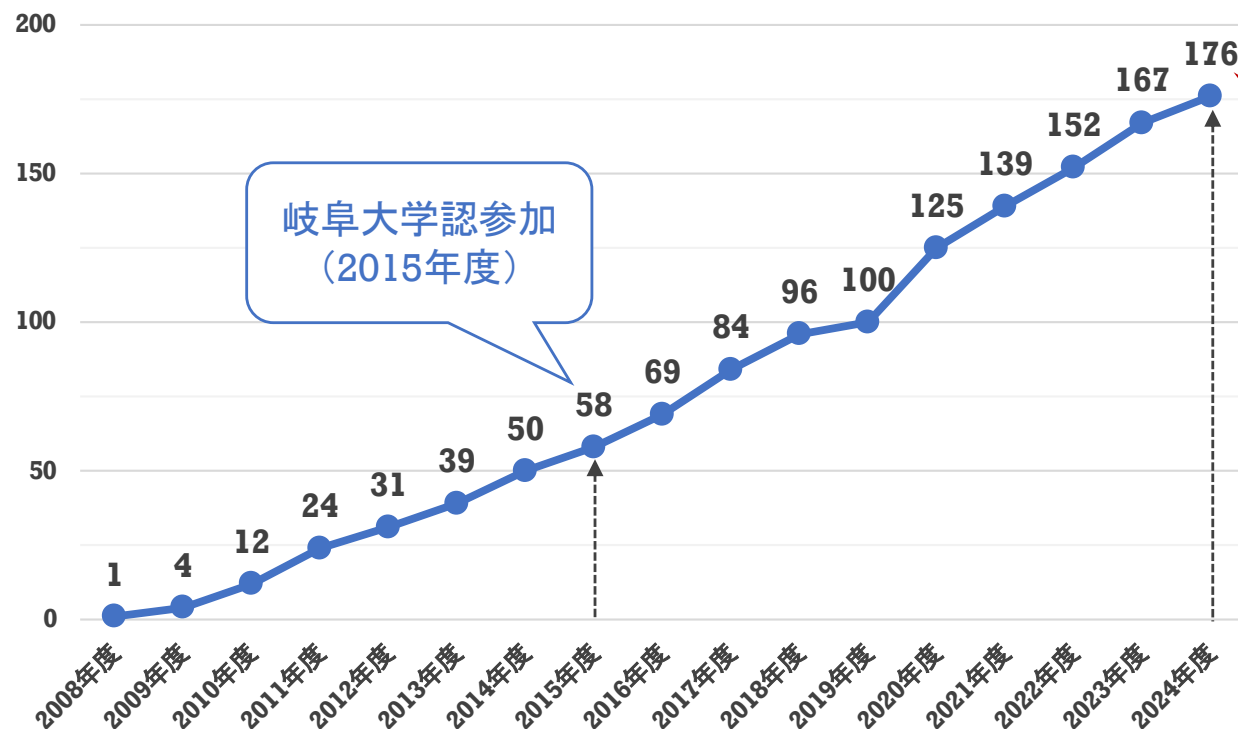
ウィンドウショッピング

SPを物色する場所がない

🐾 今回改めて調べてみると

Gakunin Metadata上のSP数推移（承認年度ベース）

承認日不明
(45)



岐阜大学認参加
(2015年度)

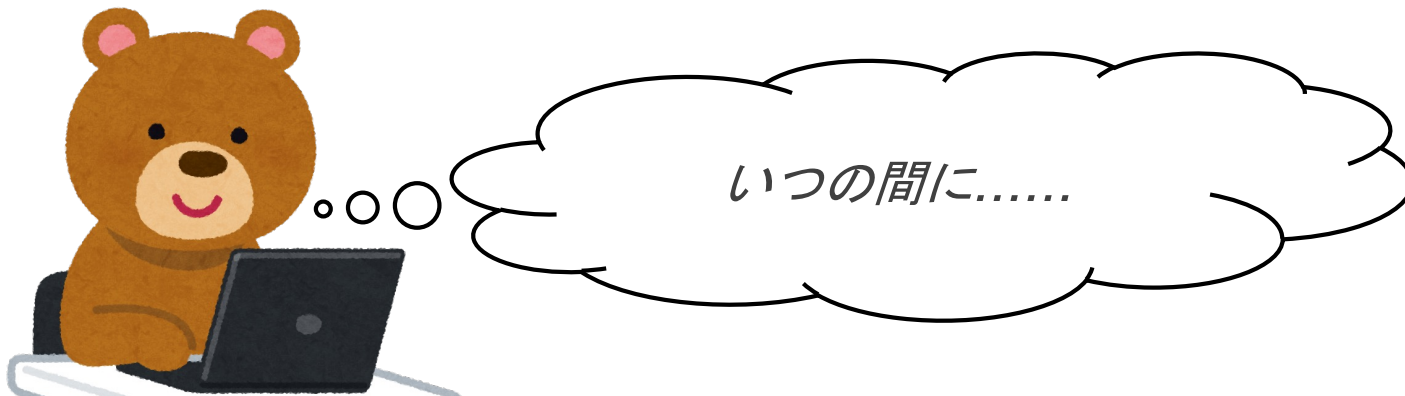
118個も
増えてる!!
(12/03時点)



何がそんなに.....

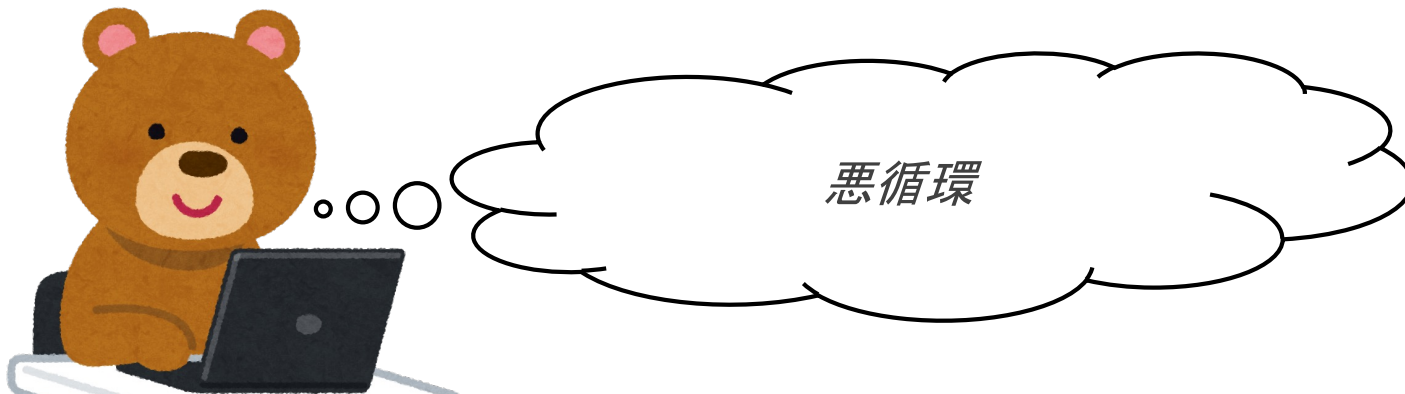
SP一覧を眺めてみたら

- ・結構知らないSP増えてる
- ・学習サービスがちらほら
- ・あまりイメージがなかった学割なんかも



いつの間にか増えてるSP

- 新しいSPの登録がアナウンスされない
- SP一覧では何が増えたかよくわからん
- 探さないと見つけれない
 - 増えたの知らなければ探すモチベがない



SP一覧の提示情報

新規サービス探す？

機関名称	サービス名	マニュアル ▼全て表示	属性情報	承認日	備考
Serials Solutions	360 Search, 360 Link, Electronic Journal Portal	  	eduPersonTargetedID (必須)	2011年3月30日	*
株式会社...	Academic...		eduPerson...	2010...	

どんなサービス内容か連想できない

使うことを決めてから必要な情報



で？ このSPでは
実際何ができるの？

現状の学認SP一覧の位置付け

× 学認対応の新しいサービスを探す場所

○使いたいサービスが学認対応してるので設定方法を探す場所



🐾 加えて

- 本当に（ただの）一覧
 - ソートはできるが絞り込みはできない
 - 提示される情報もかなり限定的
- インラインフレームの微妙な挙動
 - 上スクロールしすぎるとIdP一覧まで動く



そもそも、IdPとSPを
同時に探したい人いる？

SP一覧への勝手な思い①

- 新しいSPとの出会いの場としては.....
 - 学認対応のeジャーナルってどれ位ある？
 - 無償ですぐ使えるサービスどれ？
 - 学生サービス向上になるのは？



せっかく増えたSPに
気づかないのは
勿体無い

Gakunin Metadata (2024/12/03)

EntityDescriptor (574)			
IDPSSO Descriptor (353)	SPSSODescriptor (221)		
	Name & Description (166)	Name Only (2)	None (53)

登録SPの75%以上、
Name有ならほぼ全件が
Descriptionを提供

※ : Name → mdui:DisplayName | ServiceName
Description → mdui:Description | ServiceDescription



もっとDescriptionを
有効活用すべきでは？

SP一覧への勝手な思い②

- SP提供情報のフォーマット揃わない？
 - 設定サンプルがあったり、なかったり
 - 同じマニュアルアイコンで記載がバラバラ
 - 違うマニュアルアイコンに同じような記載
- 使用に際しての連絡先表記もイロイロ



比較検討しづらい

🐾 SP一覧への勝手な思い③

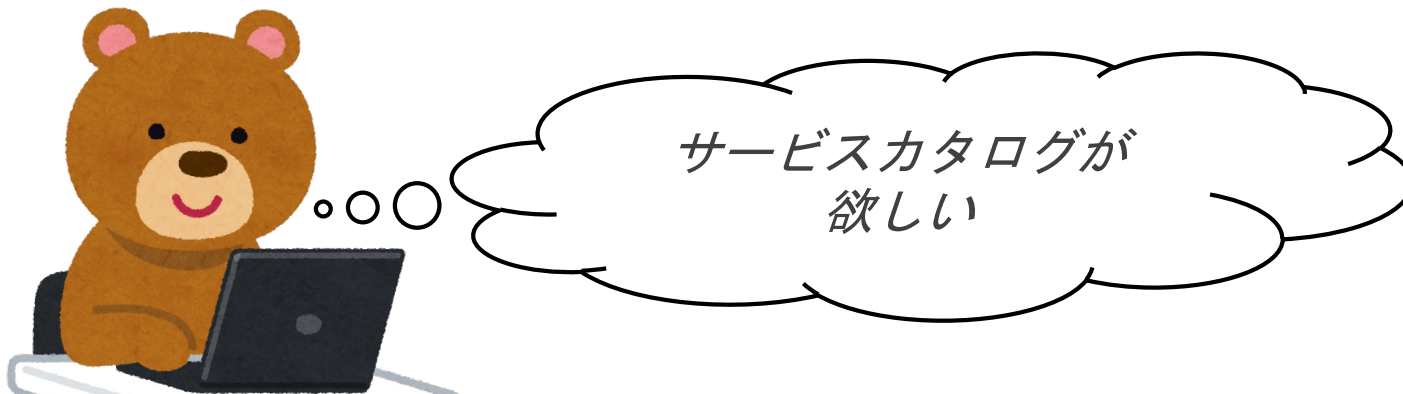
- SPに各種タグ情報付かないかな.....
 - サービス種別
 - eジャーナル、NW利用、LMS、RDM.....
 - ターゲット
 - 教育支援、研究支援、学生支援、業務支援.....
 - 利用条件
 - 要申込、要契約、有償、無償.....
 - 運用主体
 - NII提供、教育研究機関提供、企業提供.....



絞り込みしたい

SP一覧への勝手な思い④

- SPごとに個別の詳細ページがあると.....
 - サービス名、提供者、詳細（Description）
 - カテゴリ/タグ、要求属性
 - 設定ドキュメント（サンプル）
- 一覧で興味のあるSPを探して
 - 詳細ページで細かく内容チェックの2段階



イメージとしてはこんな感じ

NII FileSender Sender

提供元 : NII  

カテゴリ :   

利用条件 :  

要求属性 :   

プロトコル : 

実装 : 

概要 : 学認のIDで利用可能なファイル転送サービス

連絡窓口とか

+

利用手続きとか

設定サンプルとか



ウィンドウショッピング

SP 物 色 の場に！



学認対応サービス ってどう？



教育・研究支援は充実

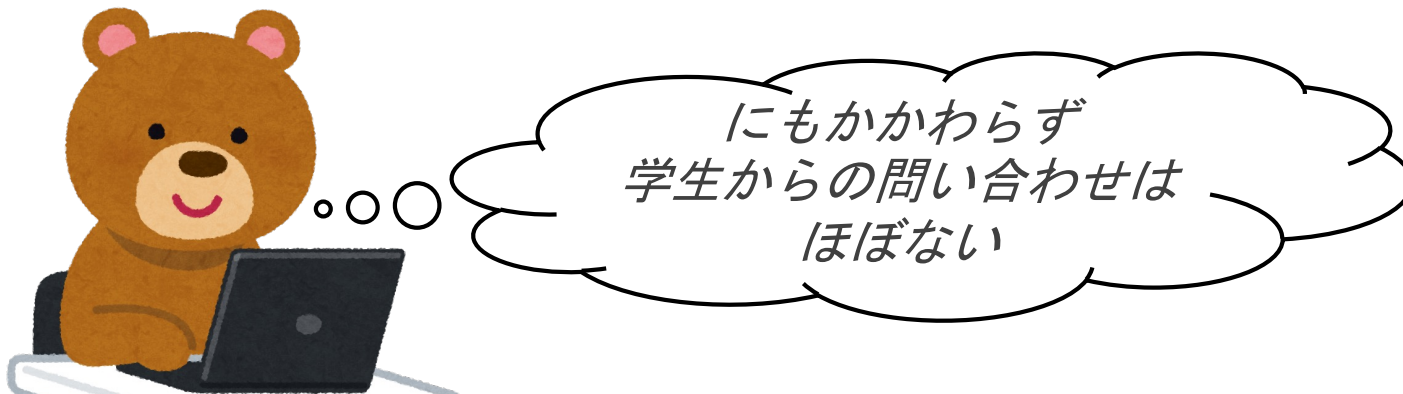
- eジャーナル（eブック）
- NWローミング
- 研究データマネジメント
- LMS



ある意味、学認の
メインストリーム

それ以外にも意外と増えてた

- 学生向けサービス
 - SheerID Verification Services
 - Student and Teacher Eligibility Verification Services for Global Brands
 - WellnetSP（バスもり！）
 - バス予約システムの学生認証



エンドユーザの認知

- SP追加の流れ
 - 図書館からの要請 or 情報部門による選別
- エンドユーザからの要望皆無
 - 少なくとも本学では
- 要望、以前に「学認」として認識されていなさそう



大学のIDで認証できる
外部サービスあるよね

なんで？

- 学認公式サイトはユーザ向け**ではない**
 - ユーザ向けマニュアルアイコンはあるケド.....
- 学認対応SPでも、それが**表に出てない**
 - サイトのかなり奥に進まないと**学認**の文字が出てこない
 - 表記が**学認**以外のだったりも
 - 「機関のIDでログイン」とか



これについては
色々と事情もありそう

エンドユーザへのリーチ

- ユーザからの要望



- 所掌部署での検討
 - 図書館とか、学生支援課とか
 - SPによっては契約、申し込み



- 情報部門でIdPへのSP登録

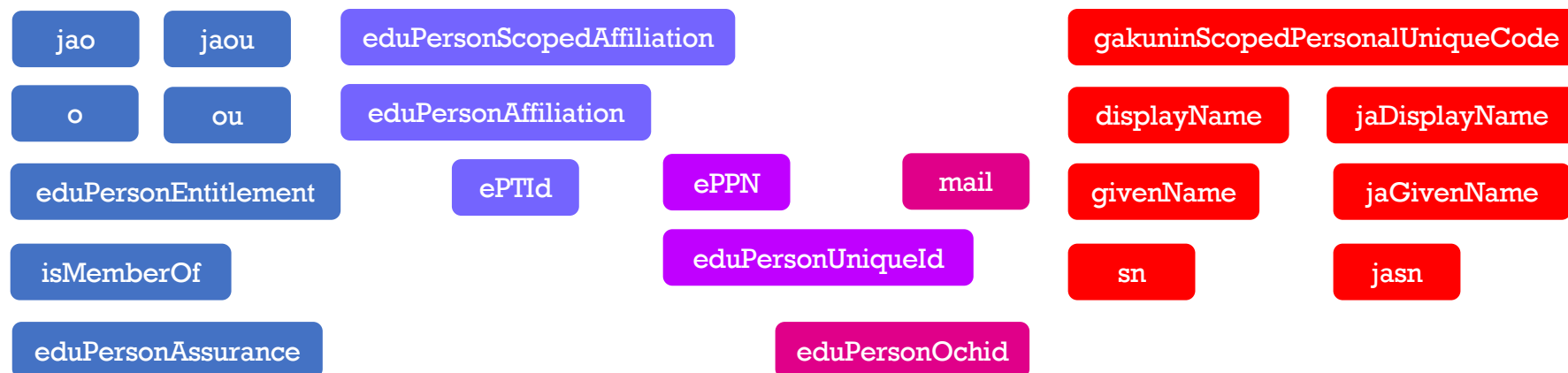


みたいな流れが
できるのでは？

🐾 一方、大学の立場として

- ・個人情報保護との兼ね合い

提供しやすい属性 ← ハードルが高い属性 →



本人がapproveする
とはいえ.....

出し易い情報って

- 所属機関に関する情報
 - o、ou、jao、jaou
- 必要性が明らかな情報
 - eduPersonEntitlement、isMemberOf
- 匿名性の高い情報
 - eduPerson(Scoped)Affiliation
 - ePTId



この辺りまでは
あまり問題にならない

例えば

利用者が**実際に学生であることの担保**が必要なSPの場合

eduPersonAffiliation

大学はともかく学生かどうか

eduPersonScopedAffiliation

どこの大学の学生か

ePTId

同じ利用者か

まあ分かる

ePPN

eduPersonUniqueId

他のSPの利用者と同じか

mail

フェデレーション外からの連絡手段

gakuninScopedPersonalUniqueCode

displayName

jaDisplayName

givenName

jaGivenName

sn

jasn

個人の特定

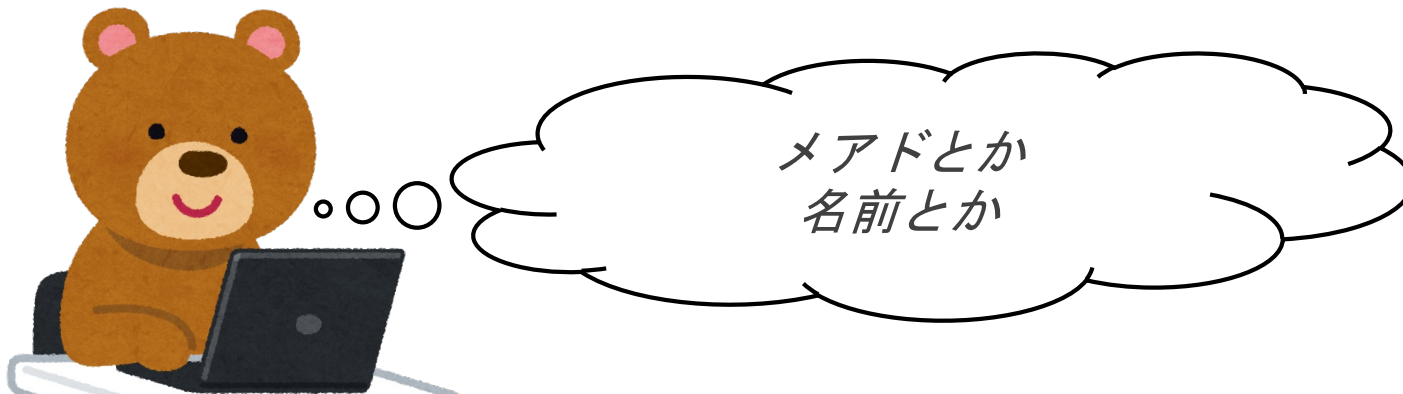
本当に要る？

上の方だけなら
比較的導入しやすい



IdP運用者としての不安

- 個人情報が含まれていると
 - 同意を取っても第三者提供なのでは？
 - 第三者提供する際の法的義務は大丈夫？
- 個人を特定可能な情報はちょっと.....



 SPへの思い（ぶっちゃんけ）

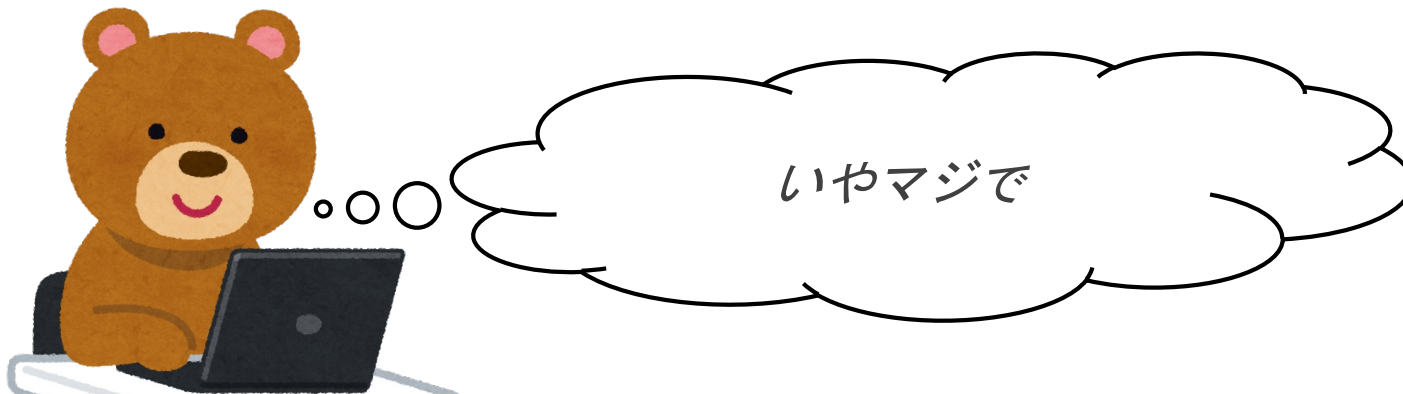
できれば

eduPersonScopedAffiliation

か、せめて

ePTId

辺りで何とかありませんか？



なんとなく

- 学認側での説明
 - エンドユーザ向けに噛み砕いた
- SP側での周知
 - 学認に対応していること
 - 学認でサインインするメリットの提示
- 大学側の受け入れ態勢



あたりが揃うと
利用増えそうな気がする



余談：

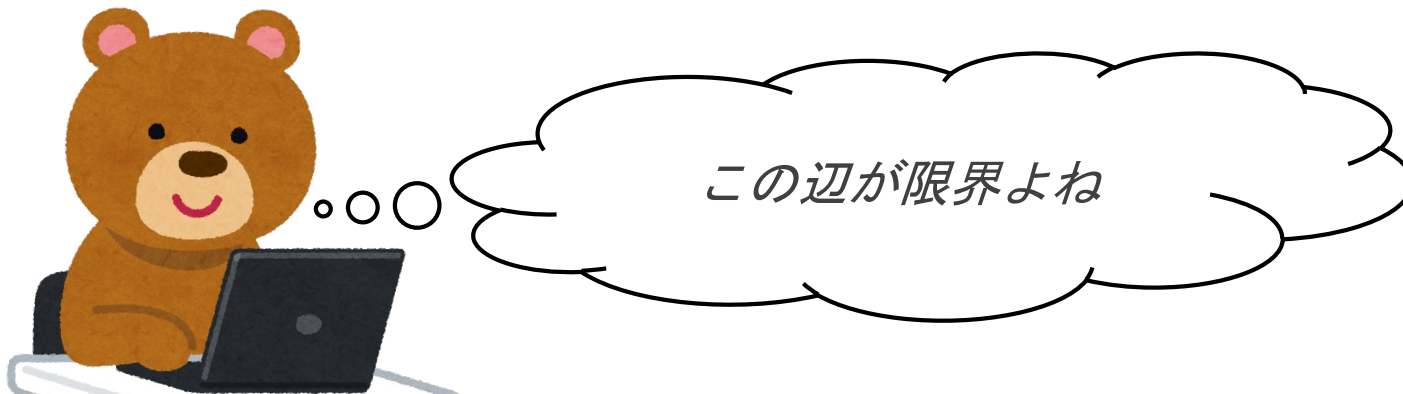
SPではないですが



学認が担保する範囲

○ある組織の構成員としての研究者
△△大学の山田教授

× 研究者個人
山田太郎その人



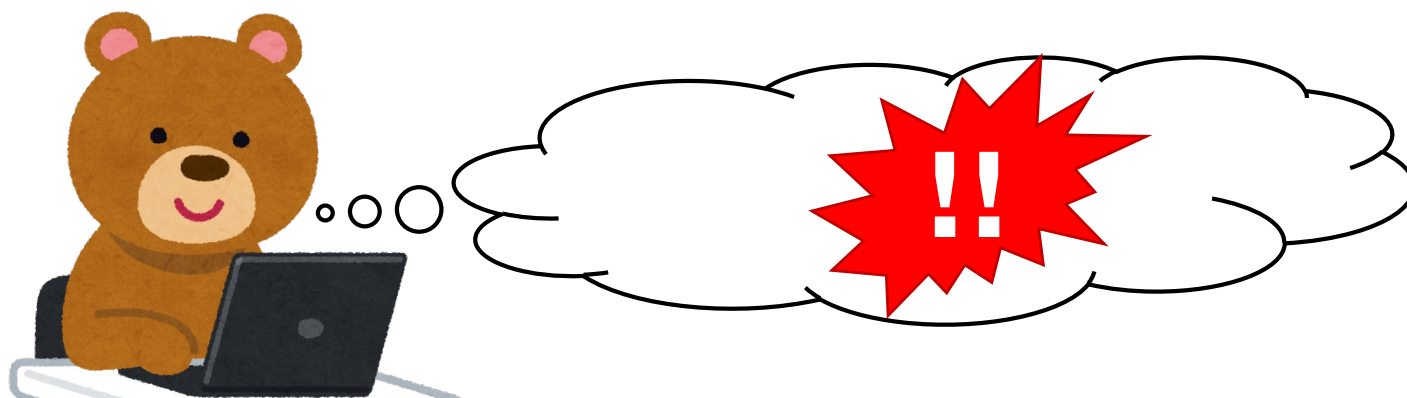
と思ってたら!?

eduPersonOrcid

m-suenaga@nii.ac.jp が作成し、2017/10/13 に Takeshi Nishimura が最終更新

仕様

名称	eduPersonOrcid
概要	ORCID 識別子を表す



🐾 ん？ ORCiD識別子渡せるの？

- IdPからORCiD識別子を提供可能？



- SP側が研究者個人を識別できる？



- 機関移籍後もアイデンティティ自動継続？



所属に依存しない
研究者個人の同定

例えばGakuNin RDM

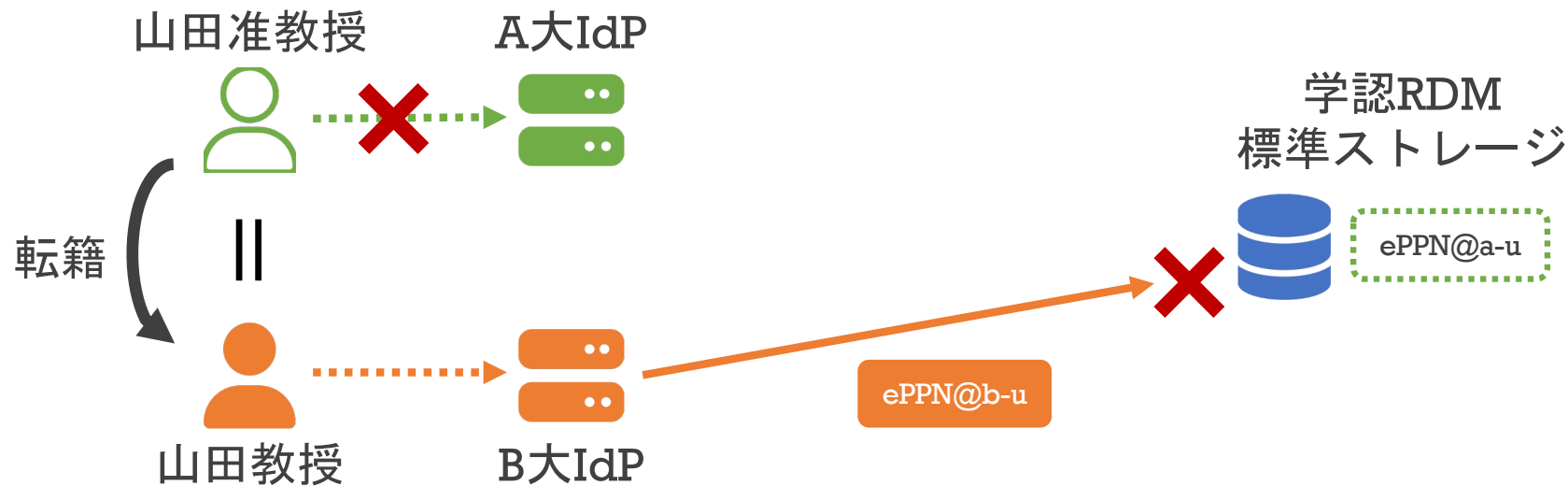
- 標準ストレージの権限管理
 - なんとなくePPNでやってそう？（予想）



IdPから渡してる
属性リストを見るに

例えばGakuNin RDM

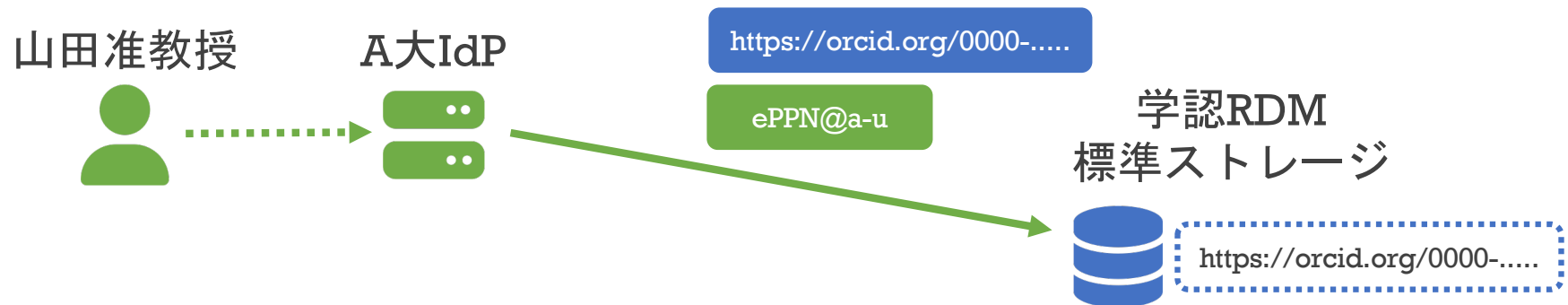
- 標準ストレージの権限管理
 - なんとなくePPNでやってそう？（予想）



一人プロジェクトは
転籍で詰む

eduPersonOrcidが使えれば

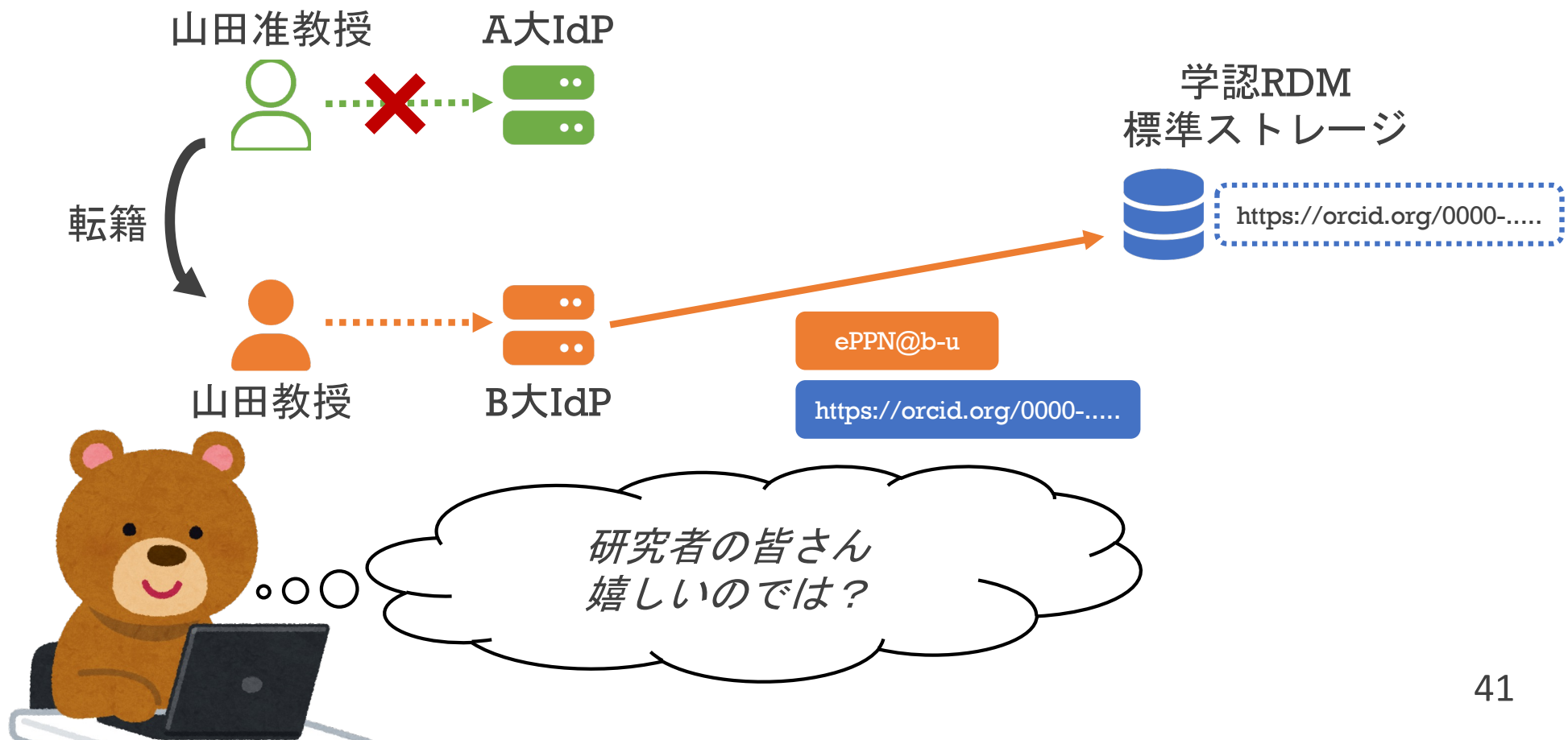
- ・ 転籍後もプロジェクトリソースへのアクセス権が自動適用されるのでは？



リソースの所有者は
ORCiD識別子で管理

eduPersonOrcidができれば

- ・ 転籍後もプロジェクトリソースへのアクセス権が自動適用されるのでは？



課題はORCiD識別子の集め方

- 大学側IDポータルにORCiD連携ボタン付けて、教員個人に連携させるとか
 - 連携しないとRDM使えないよ～、みたいに
- 研究支援部門との連携とか
 - もう教員と各種識別子の管理DB持ってない？
 - Trusted DBとして扱える程度に管理してもらて



教員とORCID識別子の
対応は大学が担保

もう1ネタ：学認への法人参加

- ・最近できる様になった
 - ・法人IdPで大学構成員が認証可能に！！
- ・実施要領によると参加できるのは
 - 一. 大学、短期大学、高等専門学校、大学共同利用機関で、IdP または SP を構築しようとする機関
 - 二. 国公立試験研究機関並びに研究又は研究支援を目的とする独立行政法人及び特殊法人で、IdP または SP を構築しようとする機関
 - 三. 前二号の機関を設置する法人等であって、SP を構築しようとする、もしくは、当該機関に所属する者もしくは当該法人等に所属する役員・教職員等が利用する IdP を構築しようとする機関



大学IdP立ててないと
法人参加できない感じ？



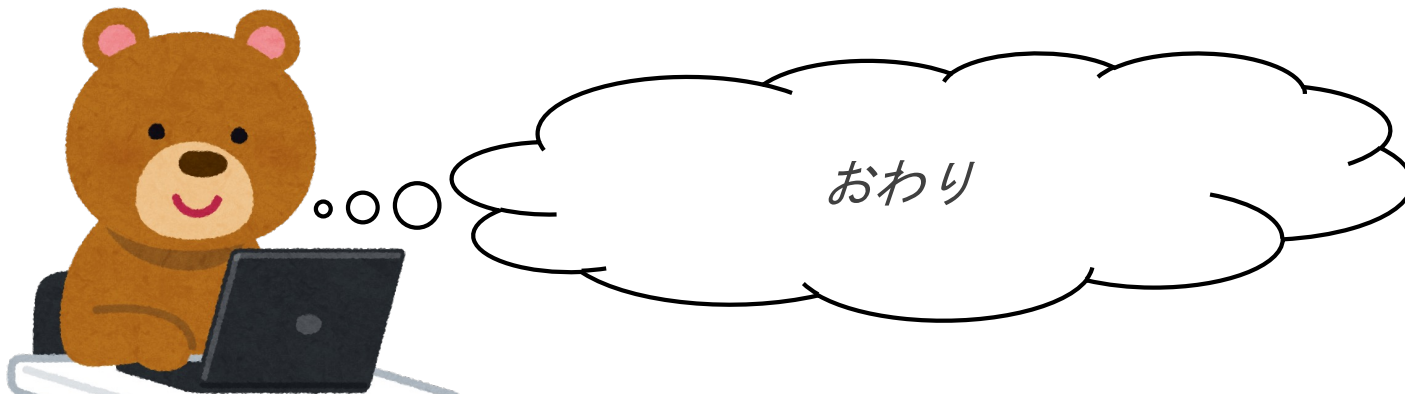
さいごに



いろいろ書いてきましたが

- 学認には非常にお世話になってます
 - 電子ジャーナルはもとより
 - 大容量ファイル送信は **FileSender** にお任せだし
 - **eduraom連携ID** あるんでradius IdP立ててないし

今後ともよろしくお願いします





Font Awesome Free 6.6.0

by @fontawesome - <https://fontawesome.com>

License - <https://fontawesome.com/license/free>

Copyright 2024 Fonticons, Inc.



「コンピューターを使う熊のキャラクター」

Copyright いらすとや